

臨床英語 I

M-03-19-T

オーガナイザー

法医学講座 教授 近藤 稔和

I 授業の目的

社会の国際化に伴い医学・医療人においても英語力が必須となりつつある。患者の健康状態や治療状況を理解する上で重要な患者の身体各部や解剖学・生理学に関連する医学英語を理解し、その用語の構造に関して接尾語・接頭語に分けて語句の意味を予測したり、広く関連用語の語彙を増やすことを目的としている。また、よく医療現場で用いられる用語の使い方や略語の意味などについても理解できるようにする。将来、医科学者・医師となって国際的に活躍できる能力を習得する。

II 到達目標

1. 身体各部や解剖学、生理学、病理学に関する英語を学習し、実際に使うことができる。
2. 英語による講義を聴講し、内容を理解することができる。
3. 英語による講義を聴講し、英語で質問することができる。
4. 英語による講義を聴講し、英語で討論することができる。
5. 英語論文を読んで、英語で要約できる。

III 教育内容および講義日程表

実際に、英語講義を聴講し、英語で討論する。英語論文の内容を英語で要約する。

No.	月日	曜日	時限	項目	担当科	担当
1	R6.1.10	(水)	4	新型コロナウィルスに関する英語講義	法医学	Sperhake
2	R6.1.17	(水)	3	英語論文の要約	法医学	近藤
3	R6.1.24	(水)	3	英語論文の要約	法医学	近藤
4	R6.1.30	(火)	4	法医学に関する英語講義	法医学	Cecchi
5	R6.1.30	(火)	5	法医学に関する英語講義	法医学	Cecchi

IV 学習及び教育方法

実践的授業形式とする。必要な知識を講義し、各授業のテーマに沿った文章等を実際に作成する。

V 評価の方法

それぞれの授業で作成した成果物を提出し、その評価を行う。

VI 推薦する図書

特になし

	1基盤的資質	2医師としての基本的資質	3コミュニケーション能力	4医学的知識	5医学の実践	6医学的(科学的)探究	7社会貢献
卒業時コンピテンス	問題解決型能力 情報技術 語学能力	社会人として的一般教養 倫理観 チーム医療	自己啓発 他人者への思いやり 人間関係の構築 情報交換	細胞の構造と機能 人体の構造と機能 人体の発達・成長、加齢、死 疾病的機序と病態 検査・画像診断技術	生物統計 法医学 生物統計 行動科学・医療経済 基本的臨床技能 患者尊厳 法令、研究倫理 疾病的利用 基本的診察知識 疾病的診断・治療方法 臨床推論・検査所見・画像診断	緩和・終末期・看取りの医療 介護と在宅医療 救急医療 治療選択 診療録作成 患者説明 副作用・薬害 医療安全・感染予防 予防医学 和歌山県医療 ブレゼンテーション技能 和歌山県医療 基礎医学研究 臨床医学研究 研究論理の実践 研究成果の公表 社会医学研究 地域貢献 福祉活動 ボランティア活動	
臨床英語I	E	E	E	E	F	F	F